



学生ボランティア事業を発案した小島菜々恵さん＝愛知県扶桑町のツアーステーションで

### 観光産業体感できる機会

学生ボランティアが豪華客船の乗組員をもてなす今回の企画は、旅行会社「ツアーステーション」の新入社員の小島菜々恵さん(22)が、大学時代に発案して実現した。

小島さんは、愛知淑徳大交流文化学部3年の時に同社のインターンシップに参加した。「日本国内では、身に付けた英語などの力を發揮する場面が少ない。学生がボランティアで豪華客船の乗組員を観光案内できれば、実力を試す絶好の機会になるはず」と加藤広明社長に提案した。

小島さんが、3、4月に学生ボランティアに名古屋市内を観光案内してもらった乗組員10人に感想を聞くと、「親切で良かった」との感想が聞かれた。

小島さんは「増加している訪日外国人客をどうもてなして、日本を好きになってもらうかは大きな課題。私を含めて若者で日本の観光産業の魅力を高めたい」と話している。



別れ際に、乗組員の男性と連絡先を交換する学生たち＝名古屋市港区の名古屋港で

# 外国船乗員を観光案内

全長三百十一メートルの大型豪華客船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が四月二十八日の朝、名古屋港金城ふ頭に寄港した。乗客三千人、乗組員一千人。中国・上海から東京へ向かう五日間の船旅の途中だ。同船からフィリピンや中国、ウクライナの乗組員五人が下りてくると、愛知学院大と相山女学園大の学生四人が出迎えた。

名古屋での停泊時間は夕方までで、乗組員が名古屋市内を観光できる時間は三時間だけ。短い時間の中でいかに乗組員を楽しめさせられるかが、案内の学生に課せられた課題だ。

学生たちは鉄道を使い、名古屋駅まで乗組員たちを連れて行った。乗組員との連絡際に、乗組員の男性と連絡先を交換する。学生がボランティアとして、豪華客船の乗組員をもてなす今回の企画は、旅行会社「ツアーステーション」の新入社員の小島菜々恵さん(22)が、大学時代に発案して実現した。

小島さんは、「どうすれば名古屋で快適に過ごしても」という課題だ。豪華客船の乗組員が名古屋市内を観光できる時間は三時間だけ。短い時間の中でいかに乗組員を楽しめさせられるかが、案内の学生に課せられた課題だ。

名古屋駅まで乗組員たちを連れて行った。乗組員との連絡際に、乗組員の男性と連絡先を交換する。学生がボランティアとして、豪華客船の乗組員をもてなす今回の企画は、旅行会社「ツアーステーション」の新入社員の小島菜々恵さん(22)が、大学時代に発案して実現した。

豪華客船の乗組員をもてなす今回の企画は、旅行会社「ツアーステーション」が計画した。同社は、国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所と協力して、外国人に名古屋港の魅力を発信する事業に取り組んでいる。加藤広明社長(四九)は「名古屋港に来た客船の乗客は観光プランがあるが、乗組員ではない。学生が、乗組員をもてなすプロの乗組員を満足させるガイドができるば、いい経験になる」と活動の狙いを話す。

名古屋市の名古屋港で、愛知県の大学生がボランティアで豪華客船の乗組員をもてなしている。学生の中には将来的に喜んでもらえて良かった」と話した。

(藤原啓嗣)

## 学生ガイド 名古屋PRに一役

学生が外国の客船の乗組員をもてなす事業は、同県扶桑町の旅行会社「ツアーステーション」が計画した。同社は、国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所と協力して、外国人に名古屋港の魅力を発信する事業に取り組んでいる。

加藤広明社長(四九)は「名古屋港に来た客船の乗客は観光プランがあるが、乗組員ではない。学生が、乗組員をもてなすプロの乗組員を満足させるガイドができるば、いい経験になる」と活動の狙いを話す。

## 就職念頭「世界、と触れる

同社は毎年春と夏にインターーンシップ(就業体験)で、観光について学んでいる大学生を受け入れている。今回は、学生を受け入れた実績のある愛知学院、相山女学園、愛知淑徳の各大学に呼び掛け、船員を案内する学生を募集した。これまでに二月と四月の一回、学生が同船の乗組員を案内。学生のツアーリスト、ロニー・クルーズさんは「仕事で世界各地を回っているが、学生が船員一人一人の要望を聞いて観光案内してくれるのは名古屋だけで、毎回感謝している」と喜んでいた。

若松さんは「ウクライナやフィリピンなどそれぞれ言語が違う外国人に接するのは難しかったが、貴重な経験になった。旅行会社に就職してもこの経験を忘れない」と話した。